|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付年月日 | 令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |  | 決　　　　　　裁 |
| 伺年月日 | 令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |  | 常務理事 | 事　務　長 | 担　当 | 担　当 | 台帳照合印 |
| 決裁年月日 | 令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |  |  |  |  |  |  |
| ※支給支払決議書 | 支給額 | 円 |  |
|  |
|  | 資格取得 | 　　　　　年　　　　月　　　　日 |
|  | 資格喪失 | 　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 支払開始 | 令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |  |
|  | 標準報酬月額 | 千円（第　　　　級） |
|  | 障害年金額・日額障害手当金額 | 円（日額　　　　　　円） |
| 支給期間 | 自 令和　　 年　　 月　　 日至 令和　　 年　　 月　　 日 | 日間 |  | 老齢（退職）年金額 | 円（日額　　　　　　円） |
|  | 全部・一部不支給 | 期間 | 令和　　　年　　　月　　　日から　　　　　　 日間令和　　　年　　　月　　　日まで　　　　　　　 円 |
| 前回 | 始 | 令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |  | 理由 |  |
| 終 | 令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |  | 備　　　　　　考 |  |
|  | 傷病手当金請求書 （第　　　　回目） |
| 被保険者が記入するところ | ①被保険者証の記号・番号 | **１２３－４５６** | ②被保険者の　業務の種別 | **一般事務** |
| ③事業所の名称及び所在地 | 名　称 | **×××××株式会社** | 所　在　地 | **×××××１－２－３** |
| ④資格を取得した年月日 | 　**昭和60年4月1日** | ⑤標準報酬月額 | **０００**円 |
| ⑥老人保健法の医療を受けたとき | 市町村番　号 |  | 受給者番　号 |  | 発　行機関名 |  |
| ⑦介護保険のサービスを受けたとき | 保険者番　号 |  | 被保険者番号 |  | 保険者名　称 |  |
| ⑧発病又は負傷の　年　月　日 | **令和4年2月1日** | ⑨ 傷　病　名 | **椎間板ヘルニア** |
| ⑩発病又は負傷の原因 | **不明** | ⑪第三者行為によるものですか |
| いいえ・は　い |
| ⑫労務に服することができなかった期間 | **令和　　4年 　2月　　　1日から****令和　　4年 2月　　18日まで** | **18日間** |
| ⑬上記期間の報酬の全　部又は一部を受けた　とき、又は受けるこ　とができるときは、　その報酬額及び期間 | 令和　　　年　　　月　　　日から令和　　　年　　　月　　　日まで | 日間 |
| 受けた報酬額 円受けることができる報酬額 円 |
| ⑭障害年金、障害手当金を受けているとき、又は受けることができるとき | ㋐年金の種別 | 障害年金・障害手当金 | ㋑年金額 |  | ㋒年金の支給事由となった傷病名 |  |
| ㋓年金を受けることとなった年月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 | ㋔障害年金を受けている場合は基礎年金番号・年金コード |  |
| ⑮ | ㋐老齢又は退職を事由とする公的年金を受給していますか | はい・請求中・いいえ |
| 資格喪失者任意継続被保険者 | ㋑老齢（退職）年金の名称 | ㋒基礎年金番号及び年金コード又は記号番号若しくは番号 | ㋓受給年月日 | ㋔年金額 |
|  |  | 令和　　年　　月　　日 | 円 |
|  |  | 令和　　年　　月　　日 | 円 |
| の方 |  |  | 令和　　年　　月　　日 | 円 |
|  |  | ㋕年金の合計額 | 円 |
| ⑯振込希望の金融機関名 | 銀　行**××××**信用金庫農　協 | **××××**支店（ | 普通当座 | 第　**1234567**　　　　　号） |
| ⑰ **令和　　4　年　　　3月　　1　日**上記のとおり申請します。 |
| 被保険者の | 住　所**神奈川県伊勢原市○○番地**氏　名**市 光　太 郎** ㊞ |
|  市光工業健康保険組合理事長　殿 |
| 事業主が証明するところ*記入例* | ⑱労務に服さなかった期間 | 令和　　　　年　　　　月　　　　日から令和　　　　年　　　　月　　　　日まで | 日間 |
| ⑲上記の期間中の分として支払う報酬関係 | ㋐全額支給した場合、又は支給する場合 | 令和　　　　年　　　　月　　　　日から | の分として | 金　　　　　　　円（　　月　　日支払） | 日額金　　　　円 |
| ㋑一部支給した場合、又は支給する場合 | 令和　　　　年　　　　月　　　　日から令和　　　　年　　　　月　　　　日まで | の分として | 金　　　　　　　円（　　月　　日支払） | 日額金　　　　円 |
| ㋒現在までにも又、将来も支給しない場合は、その旨 |  |
| ⑳　　上記のとおり相違ないことを証明します。令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 事業主 | 住　所氏　名 ㊞電話　　　局（　　　　）　　　　番 |

事業主が記入するところです。

治療を受けた医師に

記入してもらってください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 療養を担当した医師が意見を書くところ | 傷病名 |  | 発病又は負傷の原因 |  |
| 発病又は負傷の年月日 | 令和　　　　年　　　　月　　　　日 | 療養の給付を開始した年月日 | 令和　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 労務不能と認めた期間 | 令和　　　　年　　　　月　　　　日 か ら令和　　　　年　　　　月　　　　日 ま で | 日間 | 診療実日数 | 日間 |
| 傷病の主症状および経過概要 |  | 上記の期間中に入院をした期間がある場合はその期間 | 令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで | 日間 |
| 入院の費用の別 | 健　　保・公　　費自　　費・そ の 他 |
| 　　上記のとおり相違ありません。令和　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 医　師 | 住　所（所在地）医療機関名氏　　　　　名 ㊞電話　　　　局（　　　　）　　　　番 |

|  |  |
| --- | --- |
| 委　　任　　状 |  私は を代理人と定め、次の権限を委任する。 |
| 令和　　　年　　　月　　　日請求した傷病手当金のうち |
| 金 円也の受領に関すること。令和　　　年　　　月　　　日 |
| 被保険者の（請求者） | 住所氏名 ㊞ |
| 代理人の | 住所氏名 ㊞ |
| 振込希望の金融機関名 | 銀　行信用金庫農　協 | 支店（ | 普通当座 | 第　　　　　　　　　　　　号） |
|  |
| 領　収　書 | 金 円也但しうえの金額を領収いたしました。 令和　　　年　　　月　　　日 |
|
| 市光工業健康保険組合理事長　殿 |
| 受 領 者 | 住所　**神奈川県伊勢原市○○番地**氏名　**市 光　太 郎** ㊞ |
| **記入方法については裏面の記載事項を御覧の上御記入下さい。** |

**●被保険者の注意事項**

ア．①および④は、健康保険の被保険者証に書いてあります。⑤は勤務先から交付される「賃金支払内訳票」などをみればわかります。

イ．⑥欄は、療養のため勤務に服することができない期間中に老人保健法の医療を受けたときは、健康手帳の医療の受給資格を証する頁に記載されている市町村番号、受給者番号および発行機関名を記入して下さい。

ウ．⑦の欄は療養のため、勤務に服することができない期間中に介護保険法によるサービスを受けたときには被保険者証に書いてある保険者番号、被保険者番号、保険者名を記入して下さい。

エ．⑩欄は、（いつ○○年○月○日午前○時）、どこで（自宅の庭で）、なにを（薪を）、どうしているうち（割っているうち）、なにが（薪の）、どういうふうになって（破片が飛んで）、どこを（顔を）、どうした（裂傷した）というように

くわしく記載して下さい。

オ．⑭欄は、同一の疾病又は負傷およびこれによって発した疾病により、障害年金、障害手当金を受けている場合に記入するとともに障害年金該当者は障害年金証書の写、支給開始並びに直近の額を証する書類を、又、障害手当金の該当者は

その支給額を証する書類を添付して下さい。

カ．⑭欄で障害年金、障害手当金を現在請求中の場合（受けることができるとき）は、㋔欄のみにその旨を記入して下さい。

キ．⑭㋐欄は、受けている年金を○で囲んで下さい。

ク．⑭㋑㋒㋓欄は、障害年金を受けている場合又は、障害手当金を受けている場合は、それぞれの支給を証する書類等をみて記入して下さい。

ケ．⑭㋔欄は障害年金を受けている人は、その年金証書の記号番号をみて記入して下さい。

コ．⑮㋐の欄は現在の年金受給状況を○で囲んで下さい。

サ．⑮㋑㋒㋓㋔欄は支給を証する書類等を見て記入して下さい。

シ．⑮㋕欄は年金の合計額を記入して下さい。

ス．⑯欄は、被保険者（本人）が直接受領するときに、被保険者の希望する振込機関名を記入して下さい。

セ．傷病が第三者の行為によるものであるときは、「第三者行為による傷病（死）届」を作って、この請求書に添付して下さい。

ソ．欄は、委任により代理受領するときに、代理人の希望する振込機関名を記入して下さい。

タ．欄は、被保険者（本人）が直接健康保険組合の窓口で受領するときに記入して下さい。

チ．※印の欄には記入しないで下さい。

**●事業主の注意事項**

ア．⑲欄の「全部支給」または「一部支給」とは、一日当りの賃金の全部または一部の意味であること。

イ．⑲欄の㋐と㋑にわたるときは、両欄にそれぞれの事柄を記載すること。

ウ．⑲欄の㋒の欄は、「現在までにも、また将来も支給しない」と記載して下さい。

エ．⑳欄は、被保険者の資格を喪失した後の期間にかかる請求であるときは、事業主の証明を要しません。

**●医師の注意事項**

ア．欄は、初診日を記載するのでなく、その傷病について健康保険による療養を始めた日を記載するものですから、被保険者証の療養給付記録欄などを見て記載して下さい。

イ．欄は、なるべく詳しく記載して下さい。特に、手術した場合は手術の名称と手術年月日を、また結核性の疾病については検痰成績、安静度、赤沈度、理学的所見などを記載して下さい。

**●その他共通する注意事項**

ア．訂正したところは、各記載者の氏名のわきに押した印と同じ印（①から⑰までの訂正箇所には⑰の印、⑱から⑳までの訂正箇所には⑳の印、からまでの訂正箇所にはの印、からまでの訂正箇所には⑰の印）を訂正印として

押して下さい。

イ．印はハッキリと押し、印洩れのないようにして下さい。

ウ．⑫、⑱、の期間の計算は、両端を入れて間違いなく計算して下さい。たとえば６月13日から６月19日までは、７日間となります。